

# 新宮市三輪崎地区の漁業について(三輪崎地区地域協議会)

## ○漁業種類

採介藻+その他漁業(刺網、一本つり等)(独立型漁業)

## ○漁業の特徴

三輪崎地区では、主にアワビ類やウニ、ナマコを獲る採介藻漁業を中心に、イセエビを対象とした刺網漁業やカツオ、アカムツなどを漁獲する一本つり漁業などを組み合わせた漁業が営まれています。

**採介藻漁業** ... 全国的に磯焼けで藻場が減少している中、当地区ではアワビ等の餌となる海藻が多く、貝類やウニなどの好漁場となっています。漁場は漁港からも近く、素潜りで漁業を行っています。また、禁漁区を設けるなど、資源管理にも取り組んでおり、持続可能な漁業を推進しています。

**刺網漁業** ... 当地区の沿岸は主に岩礁域で、秋～冬にかけて多くのイセエビが水揚げされています。周辺の地域と連携し、キズのない良質なイセエビを「南紀黒潮イセエビ」として売り出しています。

**一本つり漁業** ... 県南部ではひき縄つり漁業(ケンケン漁)によるカツオ漁が有名ですが、当地区でもケンケン漁が営まれています。また、アカムツやアマダイなどの高級魚の漁場が近く、高級魚を狙った釣りも盛んです。



アワビ、サザエ、ウニなどの餌となる海藻の群落  
(カジメ)



(ホンダワラ類)



採介藻漁業の様子  
(素潜りでアワビなどを獲ります)

## ○年間スケジュールと対象魚種

| 地区  | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |  |  |  |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|--|--|--|
| 三輪崎 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |
|     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |
|     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |
|     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |

※年間操業日数: 160日

○一日のスケジュール

| 漁業種類 | 3時 | 4時 | 5時  | ～  | 9時  | 10時 | 11時 | 12時 | 13時 | 14時 | 15時 | ～  |  |
|------|----|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|--|
| 採介藻  |    |    |     |    |     | 出港  | 操業  |     |     | 帰港  |     |    |  |
| 刺網   |    | 出港 | 網引揚 | 帰港 | 網外し | 網修繕 |     |     |     | 出港  | 網仕掛 | 帰港 |  |
| 一本つり | 出港 | 操業 |     |    |     | 帰港  |     |     |     |     |     |    |  |

○平均漁業所得(事例)

採介藻:180万円/年(水揚金額200万円、支出20万円)  
 刺網:170万円/年(水揚金額200万円、支出30万円)  
 一本つり:300万円/年(水揚金額360万円、支出60万円)

○募集要件

- ・三輪崎地区に住み、本地域で漁業への就業を希望する方  
 <就業までの支援>  
 三輪崎地区地域協議会が選任した漁業者が、次の研修等で漁業就業に向けてサポートします(国・県の支援制度を活用)
- ・漁業体験(1日)の実施
- ・トライアル研修(最長30日):漁業の基礎や漁村暮らしを実体験(実践研修前の短期的な研修)
- ・漁業技能承継実践研修(最長23ヶ月):漁業技能、漁具作成・補修、船舶・機器作業などの実践研修  
 ※研修後、独立就業に向けてフォローアップを行います

○地域の特徴

三輪崎地域は紀伊半島の東南部に位置し、温暖な気候と熊野の雄大な自然に抱かれた漁村として、発展した港町であります。  
 約300年前には、三輪崎の漁民が、十艇八艘船を漕いで千キロ離れた気仙沼市唐桑町を訪れ「カツオ一本釣り」の漁法を唐桑の漁民に伝え広く普及したと伝えられており、現在に至っても唐桑と三輪崎とは交流が続いています。

(生活情報)

- 公共交通:最寄り駅はJR三輪崎駅
- 病院 :井畑医院、湊口クリニック
- 学校等 :三輪崎保育園、三輪崎小学校



## ○漁村地域の取組

### 【地域特産物の直売】

当地区の漁業者の中には、漁獲したアワビ、サザエ等の水産物を地元の市場に出荷するだけでなく、朝市等に参加して来場者に直接販売することで、販売単価の向上に取り組んでいます。三輪崎漁業協同組合では、通販の活用や朝市への参加等により、漁業者が漁獲する地域特産物(イセエビ、アワビ、ウニ等)の直売を推進し、漁業収入の向上を目指します。

### 【藻場の保全・資源の保護】

三輪崎漁業協同組合では、貝類の餌となるカジメ等の海藻を増やすため、藻場造成に取り組んでいます。また、藻場に棲息するアワビやイセエビの資源を保護するため、アワビ稚貝の放流や小さいイセエビの再放流も行っています。



母藻を移植したことで  
新たに着生したカジメの幼芽



アワビの稚貝  
(3~4 cm)



アワビ稚貝放流の様子  
(素潜りで岩の下に丁寧に放流)

## ○三輪崎漁業協同組合の仕事

三輪崎漁業協同組合では、水揚げされた水産物のセリ、燃料や漁具の販売のほか、売船広告の掲示や保険・共済制度等の紹介など幅広い取組により漁業者の活動を支援しています。

## ○問い合わせ先

三輪崎地区地域協議会(事務局:三輪崎漁業協同組合)

担当窓口:三輪崎漁業協同組合 湯川裕基 (TEL:0735-31-7019、FAX:0735-31-5615)